



## C O N T E N T S

- 今出川マルチメディアラウンジオープン! 1
- 2005年 日・EU市民交流年：フレンドシップウィーク at 同志社大学 3
- 学内LAN対応 CD-ROMの利用方法が変わりました!! 3
- 所蔵資料紹介：竹林文庫の記録文書類、ついに公開 4
- 総合情報センターからのお知らせ 7
- 開館開室時間一覧表 8

# Doshisha <sup>2005 Apr.</sup> No. 29 University 総合情報センター報

Library and Information Technology Center

## 今出川マルチメディアラウンジオープン!

— Multimedia Lounge in IMADEGAWA —

4月1日、寧静館1階に「今出川マルチメディアラウンジ(今出川MML)がオープン、2階メディア工房と合わせ、寧静館は今出川校地におけるマルチメディア利用環境の中心へと生まれ変わりました。

### What's the MML?

皆さんが大学生活を送る中で、学習成果を発表する際、レポートにまとめる、パワーポイントでプレゼンするなど、いろいろな方法がありますが、ホームページで公開することもあるかと思います。普段よく目にするサイトのよう、美しい写真やイラスト、アニメーションなどを使って、素晴らしいものを作りたいと思うのは当然です。こういった要望に応えるのが、今回オープンした「今出川MML」です。

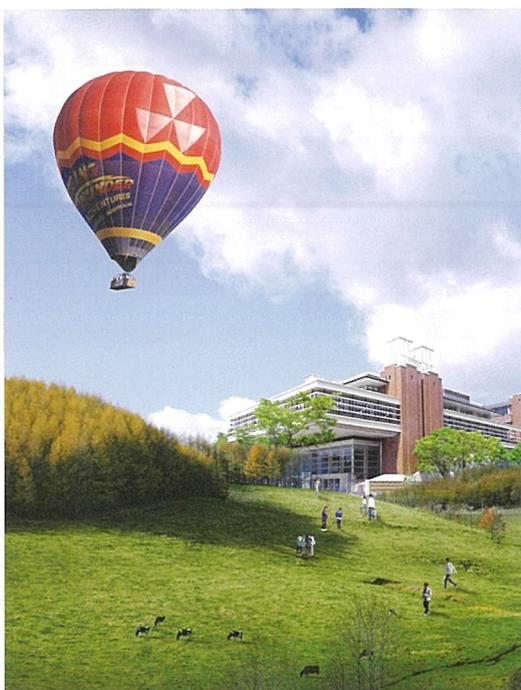
ここでは、最新のパソコンを駆使して、写真やビデオなどの素材の編集からDVDやホームページといった作品の制作までを一貫して行うことができます。自分で撮影した写真の一部分を加工する、ビデオのワンシーンを写真にする、インパクトのあるグラフやイラストで視覚

的効果をあげるなどができれば、表現力と説得性が数段アップすることは間違いありません。効果的にアピールするコンテンツで、表現の幅を大いに広げましょう。

しかし、MMLに行ったからといって、すぐにそういった作品ができるわけではありません。まず、こんなものを制作したいという動機が不可欠であり、創造性や自由な発想など皆さんの個性も重要な要素です。さらに、ソフトウェアの操作技術の習得も必要です。技術の習得には支援スタッフもサポートしますが、実際に作品まで完成させるには、時間のかかる地道な作業も必要となります。このような体験や操作技術の習得は、学生生活のみならず、将来必ず役に立つものとなるはず。あなた自身の中にあるイメージを、ここでカタチにしてみませんか?最新のマルチメディア空間が、あなたの創造性を引き出します。

# MMLではこのような作品が作れます。

(作品例)



画像編集ソフト(Photoshop)を使い、外国の風景写真とローム記念館の写真を合成した作品例です。

## Multimedia PC Area

1階

ハイスペックのWindowsPC10台とMacintosh(PowerMacG5)4台から構成される今出川MMLでは、スキャナやDVデッキなどの周辺機器も充実しています。また、Windows、Macintosh共に情報処理実習教室と同一のユーザIDでログイン認証できますので、特別な手続きをすることなく利用できます。

## Studio

2階 メディア工房

スタジオは、初心者から上級者までが十分満足できる高度な設備を備えています。



スタジオ

人物の背景に好きな映像を流して合成するクロマキー効果など、さまざまな特殊効果を用いた収録ができます。

視聴覚教材の作成はもちろん、発表ビデオ収録など幅広く利用できます。

## Video Editing Area

2階 メディア工房

ビデオ編集システム(ダビングシステム)を利用して、ビデオの編集やダビングができます。通常のVHSのほか、D-VHS、S-VHS、Hi-8、βカム、miniDV、DVD等の相互変換を行うことができます。また、放送規格の異なる海外の素材(PAL等)と日本の規格であるNTSCとの相互変換も可能です。



ダビングシステム

### 利用について

今出川MMLの利用は、教育および研究を目的とするものに限ります。詳細については以下のとおりです。

- 利用資格：本学学生および本学専任教職員  
利用の際は今出川MML内受付カウンターで所定の手続きを行ってください。
- 利用時間：平日 9:00~19:00  
土曜日 9:00~17:00

開室時間は変更になる場合がありますので、総合情報センターホームページ・掲示板等に留意してください。

※休講期間は変更があります。

### 施設案内図



京田辺校地にもローム記念館マルチメディアラウンジがあります。

EUROPEAN UNION  
2005

# 2005年 日・EU市民交流年： フレンドシップウィーク at 同志社大学

日本と欧州連合(EU)は2001年より毎年フレンドシップウィークを開催し、お互いの社会や文化を理解することに努めています。5年目の今年は「市民交流」people to peopleをテーマに様々なイベントが企画されています。同志社大学EU資料センターでも、この取り組みに参加します。

- **講演会**—— 5月27日(金) 寒梅館ハーディーホール  
EUは昨年5月より25カ国体制になりました。2007年にはルーマニアとブルガリアが加盟予定です。このように拡大し続けるEUの日常にはどのような変化が起こっているのでしょうか。  
今回、同志社大学EU資料センターでは、変化する「ヨーロッパの都市交通」に焦点をあてます。

- **写真・資料展**—— 5月9日(月)～31日(火)  
EUを身近に感じ、私たちの日常にも参考となる、環境にやさしい新路面電車LRTを土居靖範氏の最新フォトギャラリー展でお届けします。

- **関連行事(事前申込制)**  
日・EU市民交流年:フレンドシップウィーク関連行事として司法研究科が国際シンポジウムを開きます。

※いずれの講演も通訳つきです。気軽にご参加ください。  
※EU資料センターではEUを知るためのパンフレット類や「まんが」を配布しています。

## 2005年 日・EU市民交流年： フレンドシップウィーク at 同志社大学

### 公開講演会

「脱クルマ社会—ヨーロッパの都市の挑戦」日本語通訳あり

- 会場：同志社大学 寒梅館ハーディーホール
- 日時：5月27日(金)

第1部 (13:15～14:45)

「Reconciliation in Europe - reconciliation in Asia: Can Japan learn from Europe?」

欧州連合(EU)駐日欧州委員会代表部  
ミヒャエル・ライテラー公使

第2部 (15:00～16:45)

「京都にLRTは必要か?—ヨーロッパの経験から」

同志社大学商学部教授 青木 真美

### 写真・資料展

「EUってなに?」「日本とヨーロッパの最新LRT写真展」

- 会場：同志社大学今出川図書館 明德館学生ラウンジ
- 期 日：5月9日(月)～31日(火)

### 国際シンポジウム

- 会場：同志社大学 寒梅館ハーディーホール
- 日時：5月14日(土) 10:00～17:30

「司法への市民参加・ドイツとEUにおける裁判員制度」日本語通訳あり

## 学内LAN対応CD-ROMの利用方法が変わりました!!

<http://cds.doshisha.ac.jp/>

### マルチメディア・ライブラリーではワンクリック

マルチメディア・ライブラリーのPCでは、メニューから選んでクリックするだけでスタートできます。Webブラウザを立ち上げるときにも特別なログイン設定は不要です。

### 大学院生・教員研究室からも簡単にアクセス

初回のみICAクライアントのインストールが必要ですが、2回目以降はメニューからすぐに起動します。

### 明治～戦後初期の新聞紙面を閲覧!

- 読売新聞(明治・大正・昭和戦前Ⅰ、Ⅱ+戦後Ⅰ)
- 朝日新聞戦前紙面データベース(昭和元年～9年編・昭和10年～20年編)

※判例体系、法律判例文献情報は提供を中止します。  
判例体系→オンラインデータベース[判例・法令] TKC LEX/DB  
法律判例文献情報→オンラインデータベースに切り替わります。

The screenshot shows the website interface for the CD-ROM database. It includes a header for '同志社大学' and a section for 'CD/DVD-ROMデータベースメニュー'. Below this, there are search filters and a list of available CD-ROMs, including '朝日新聞戦前紙面データベース' and '明治・大正・昭和の読売新聞'. A large newspaper clipping is displayed, featuring a headline about '勤続五十三年の老教授 米 帰国' (A professor with 53 years of service returns to Japan) and another about '米大教授の帰国' (Return of a Japanese professor from the US).

朝日新聞 1928(昭和3)年9月16日夕刊2面  
「勤続53年の老教授 米 帰国」同志社大学創立当時からのラルネッド博士の記事

# 竹林文庫の記録文書類、ついに公開

—— 竹林熊彦文書と田中稻城文書 ——

## 同志社大学図書館の輝かしき時代

今では知るひともしなくなりましたが、同志社大学は図書館学教育において、誇るべき歴史と伝統を有する大学でありました。そして、図書館学が学問として確立する以前から、その発展と基盤づくりに努めた人々を輩出してきたのです。京都府立図書館長を務めた湯浅吉郎 [湯浅半月] (1858-1943)、図書館学の先達・竹林熊彦 (1888-1960)、二人の衣鉢を継いで『日本文庫史』を著した小野則秋 (1906-1987)らは、関係者であればすぐに思い浮かぶところでしょう。



小野則秋

湯浅半月

戦前の1941年には、図書館学普及と図書館員養成を目的に、同志社大学図書館学研究会が発足しました。それから終戦までの4年間、戦時中にもかかわらず開催された研究会は、38回という驚嘆すべき回数にのぼります。熱心に研究・啓蒙活動の実践を重ねられた当時の同志社大学には、図書館への情熱と信念にみちた人々が集っていたことがわかります。

こうした活動の蓄積があったからこそ、戦後まもない1946年、同志社大学は全国に先駆けて図書館学講習所を設け、図書館学講習会を開催することができました。これは、一私立教育機関が開催した図書館学講習会の嚆矢となる快挙でありました。この同志社大学図書館学講習所と同講習会は、既に多くの識者から歴史的評価を受け、本学司書課程に脈々と受け継がれているのです。

今号では、先にふれた図書館学の先達・竹林熊彦の収集資料である竹林文庫の整理完了を機に、図書館界に貢献した

この学者の足跡と竹林文庫の概要を皆さんに紹介したいと思えます。

## 竹林熊彦の業績

まず最初に、竹林熊彦の略歴と業績を記しておきましょう。竹林は、1910年に同志社専門学校を卒業し、京都帝国大学文科大学史学科に学びました。その後、同志社大学予科教授を務め、1925年には九州帝国大学司書官、1939年には京都帝国大学司書官となりました。図書館学教育の高揚を迎えた戦後は、天理大学や同志社大学の講師を務めながら、晩年まで全力で啓蒙活動に邁進したのです。

また、彼が学界に発表した二百編を超える論考は、当時図書館界の最先端をゆく業績であったと評価されています。図書館界に大きな足跡を刻む“同志社が生んだ図書館人”と呼ばれるのも、むべなるところであります。

1950年の同志社大学図書館学講習会にて、竹林の講筵に列した受講生は、「いちばん印象深い先生でした。非常に熱のこもった面白い授業で、もともと赤ら顔の先生が熱心な講義でよい赤くなりました」と当時を回想しています。図書館学の発展に粉骨砕身した“闘士”ぶりを彷彿とさせるエピソードです。

竹林の研究分野は広汎多岐にわたりましたが、本領は日本近代図書館史の研究でした。今出川図書館に残る自筆稿本『明治時代に於ける図書館の歴史的研究史料』などは、図書館史資料を渉猟した彼の情熱を物語ってあまりある資料で、この研究で帝国学士院の研究助成を受ける栄誉に浴しました。主著である『近世日本文庫史』(大雅堂、1943)は、日本図書館協会の「復刻図書館学古典資料集」の1冊として1978年に復刻されています。

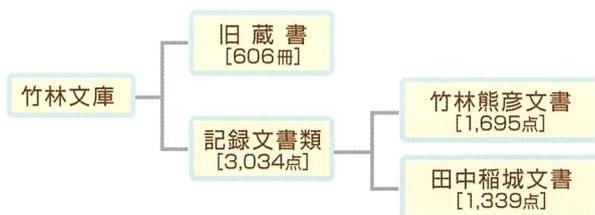


竹林熊彦

## 竹林文庫の来歴と内容

竹林熊彦は1960年に亡くなりましたが、その翌年、ご遺族の竹林春彦氏から旧蔵資料が寄贈されました。これが、現在竹林文庫と呼ばれるコレクションです。寄贈資料は、①竹林旧蔵書と②竹林収集の記録文書類に分かれています。このうち、①旧蔵書については直後に整理が終わり、利用に供されてきました。しかし、②記録文書類は図書館で整理するのが難しい資料であることから、永きにわたって未整理のままとなっていました。

竹林文庫階層図



ところがこの間、学外の方々から閲覧を希望する声が多く寄せられていました。図書館では要望にこたえるため、2003・2004年の2ヵ年の作業計画を立て整理作業を進めました。その結果、寄贈後40年あまりの歳月を経て、ようやく整理完了を迎え、2005年4月から公開の運びとなったのです。

さて、竹林文庫の記録文書類は全3,034点を数えますが、2つの資料グループから構成されます。ひとつは、竹林熊彦自身の草稿類を中心とする竹林熊彦文書1,695点、もうひとつは彼が研究対象とした初代帝国図書館長・田中稲城たなかいなぎに関する田中稲城文書1,339点です。



竹林の自筆手稿とスクラップ

まず、竹林熊彦文書を紹介します。これは、全国各地で開催された図書館講習会及び講義等の下原稿作成のた

め、竹林が新聞や図書・雑誌から抜き書きした手稿を中心とした資料群となっています。また、日本各地から収集・寄贈された館報や出版物等、当時の図書館活動がわかるものも多数残されています。

残念ながら、これらの中に竹林熊彦の人物像をうかがえる個人的な資料、つまり、書簡や日記の類はほとんど存在しません。しかし、図書館学の普及と後進の指導に奔走した彼の軌跡をたどれる資料が十分に詰まっています。

## 特筆すべき田中稲城文書

もうひとつの特筆すべき資料は、田中稲城文書です。これは日本の図書館界にとって非常に重要な記録文書といえます。竹林が近代日本の図書館を築いた人々を研究する一環として田中稲城の事跡を調査した際に、田中家より寄贈されたと推測されるものです。

ここで、田中稲城について紹介しておきましょう。

田中稲城(1856～1925)は、初代帝国図書館長・初代日本文庫協会(現・日本図書館協会)会長を務めた人物で、わが国図書館界の大恩人であり、「図書館の父」と呼んでも差しつかえはありません。



田中稲城

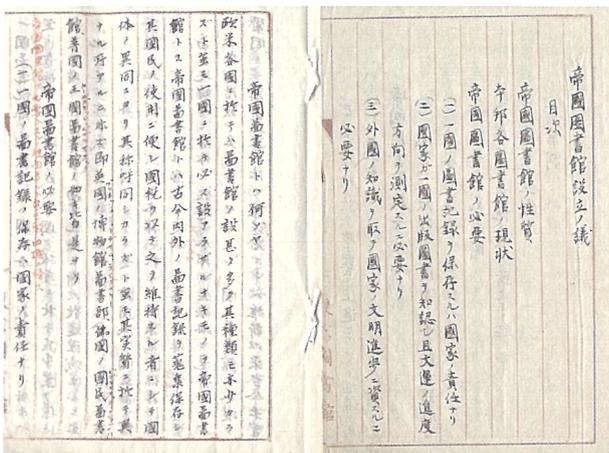
田中は、近代図書館の黎明期、図書館学では初の文部省派遣海外留学生として、1888(明治21)年から一年半にわたり欧米で学びました。そして、帰国後は東京図書館長に就任、国立図書館の必要性を建議し、外山正一とやままさかず貴族院議員らを動かして、1897(明治30)年の帝国図書館設立に多大なる功績を残しました。

のみならず、早くより図書館員の専門性を訴え、日本文庫

協会設立に参画し、図書館経営と図書館学の確立に努めました。換言すれば、一国の文化制度として図書館のグランドデザインを描き、図書館運動の発展に生涯を捧げた先覚者なのです。

この中には帝国図書館設立案をはじめとした、近代日本図書館の成立過程がわかる田中の草稿・構想メモ類が存在していました。そして図書館関係者、諸友からの書簡なども数多く、差出人には穂積陳重、井上哲次郎、加藤弘之、加藤高明、牧野伸顕、外山正一、狩野亨吉等、近代日本の礎を築いた人物の名が連なります。

また欧米留学関係資料では、「ハーバード大学図書館二付報告」、「ウースター図書館の記・プロヴィデンス図書館の記」等の報告書原稿があります。日本に近代的な図書館を移入する際、どのような事項を海外で学んできたのかを資料からうかがい知ることができます。主な訪問先は、ハーバード大学図書館、米国議会図書館、大英博物館、仏・独の国立王立図書館でした。



帝国図書館設立関係の草稿類

竹林熊彦は、これをもとに「田中稻城 一人と業績一」（『図書館雑誌』第36巻3号、昭和17年）・「田中稻城著作集」（『図書館雑誌』第36巻6号・7号・9号、昭和17年）、『近世日本文庫史』（大雅堂、昭和18年）等を発表します。それ以来、これらの資料は竹林のもとで保存され、彼の没後は今出川図書館の片隅に眠ることになったのです。

田中が心血を注ぎ、朱筆で推敲を重ねた「帝国図書館設立ノ議」等の草稿類や構想メモ類は、いまなお史的価値は非常に高いといえましょう。それらは、国民全般への文化普及のために、田中が国立図書館の必要性と設立の急務を訴えたプロセスを詳らかにしてくれます。

しかし、帝国図書館成立には、険しい道のりがありました。

田中の記録文書からは、周囲の無理解と軋轢に苦しみながら、難産の末に開館した帝国図書館の裏面史が雄弁に語られます。例えば、日露戦争や物価上昇による財政不足のために、最終的に当初予定の四分の一しか建築されず、不本意な開館を迎えた無念さを吐露した「開館式々辞」原稿は胸をうちます。

このように田中稻城文書は、わが国近代図書館成立期の「証言者」たる資料群であり、図書館思想と図書館運動の地下水脈を辿るための資料の宝庫なのです。

これらの資料は、おそらく図書館学の確立と発展に執念を燃やしていた竹林を鼓舞してくれるものであったに違いありません。そして、竹林は自らの奮闘努力を、先駆者の田中稻城の闘う姿に重ね合わせていたと推測するのは、深遠みに過ぎるでしょうか。



竹林文庫文書記録類の全景

## 公開の意義について

同志社大学竹林文庫は、竹林熊彦が研究対象とした田中稻城文書をはじめとする資料、それらをもとに竹林自身が生み出した成果物の両方が存在しています。文庫内のオリジナル草稿と竹林熊彦の著作物を対比し、研究成果を検証できる貴重なコレクションといえるでしょう。

今回の整理では、閲覧者の便宜も考慮して、1点ごとの資料記述を付した目録を作成し、年譜や書簡差出人一覧表などの参考資料も加えることができました。

この度の公開で、図書館活動の歩みに新たな光が照射され、図書館史研究の進展に貢献できれば、同志社大学としてこれ以上の喜びはありません。そして、竹林熊彦と田中稻城を顕彰する機会、図書館学における同志社の伝統を再認識する機会となればと祈念するところです。

## 総合情報センターからのお知らせ

### 情報基礎講座：情報基礎実習

パソコン初心者の方を対象とした講習会を実施しています。情報基礎講座：情報基礎実習には、実際に教室で講習を行う「講義形式」とインターネットを用いて行う「WBT」を開設していますので、内容を確認のうえ申し込んでください。

申込方法・場所、開催日時については、両校地情報メディア課窓口にて配布している2005年度情報基礎講座パンフレットを参照してください。また、本学ホームページ「在学生の方に」からもパンフレットの内容を参照していただけます。

<http://www.doshisha.ac.jp/zaigaku/jugyo/kisokoza/index.html>

- 対象 本学学生
- 実施時期 4月中旬より7月初旬／秋学期も実施
- 申込先 同志社生活協同組合  
京田辺校地：紫苑館2階メディアショップ  
今出川校地：弘風館地下1階弘風館ショップ

#### 講義形式

- ユニット1：パソコンの基礎、インターネット、電子メール
- ユニット2：ワープロソフト
- ユニット3：表計算ソフト
- ユニット4：プレゼンテーションソフト
- ユニット5：ソフトの統合活用

#### WBT (Web Based Training)

- Internet ExplorerやNetscapeなどのブラウザを用いて学習します。
- 繰り返し学習したい、自分のペースで学習したい、時間の都合で講義形式の講習には参加できない、という方におすすめします。
- WBTの内容は、上記ユニット2～4となります。

### マルチメディア講習会

写真やビデオなどの素材がレポートやプレゼン資料に使えるようになると、表現力は飛躍的に向上します。そこでビジュアルに訴えかけるマルチメディアコンテンツの作成編集の基本を学び、自身の表現力アップを目指したい!という方のために、初心者向けの講習会を実施します。詳細が決まり次第、掲示板

- 対象 本学学生
- 実施時期 各学期数回程度
- 申込先 両校地マルチメディアラウンジカウンター

や本学ホームページでお知らせしますので、奮ってご参加ください。また、講習会とは別にマルチメディアラウンジの施設紹介ツアーを随時実施しています。スタジオ設備や動画・静止画編集についてのわかりやすい説明と、簡単な体験も盛り込んだショートツアーです。ご希望の方は上記申込先にお尋ねください。

### 図書館の各種講習会(両校地図書館)

両校地図書館では、各種講習会を開催しています。図書館利用説明会をはじめ、本学蔵書検索システム「DOORS」について説明するDOORS講習会、各種データベース講習会など、皆

- 対象 本学学生
- 実施時期 随時開催予定
- 申込先 両校地図書館カウンター

さんの学術情報探索に役立つ内容のものばかりです。各講習会の日程は、両校地図書館掲示板、図書館HPをご覧ください。

<http://www.doshisha.ac.jp/gakujo/koushu/index.html>

2005年度版

#### 図書館利用案内・Tipsを配布しています!

図書館では利用案内と資料の探し方やデータベース検索方法などテーマごとに作成したTipsを用意しています。両校地図書館にて配布していますので、是非活用してください。



2005年度版

#### 「Do!」が完成しました!

「Do!」では本学情報環境(パソコン/インターネット)を利用する上で必要な事項について記載しています。両校地情報メディア課窓口にて配布しています。また「Do!」のエッセンスをコンパクトにまとめたパンフレット形式の「DoKoDeMo Do!」も併せて配布中です。是非ご活用ください。



# 2005年度 総合情報センター開館開室時間一覽

※ 利用時間は変更になる場合があります。掲示板、ホームページ等で確認してください。

※ 休館・休室日：日曜・祝祭日・振替休日、4/30、5/2、8/15～19、11/29(創立記念日)、12/25(キリスト降誕日)、12/28～2006/1/6

※ 両校地図書館は、講義期間、補講期間、試験期間の日曜日は開館しています。

京田辺校地		●講義・補講・試験期間			▲開講準備期間		■休講・休暇期間			
		月～金	土	日	月～金	土	月～金	土	8/1～9/15(月～金)	
図書館	開架閲覧室(2・3階)・参考図書 雑誌室(2階)	9:00～21:00	9:00～17:00	10:00～17:00	9:00～21:00	9:00～17:00	9:00～17:00		9:00～16:00	
	第1読書室(1階)			—			—	—	—	
	マルチメディアライブラリー(1階)			—						
	書庫入庫	9:00～20:40	9:00～16:40	—	9:00～20:40	9:00～16:40	9:00～16:40		9:00～15:40	
	共同閲覧室・対面朗読室・点字室(2階)			10:00～16:40						
	貸出・返却・予約									
	レファレンスカウンター	10:00～19:00	10:00～16:00	—	10:00～17:00	10:00～16:00	10:00～17:00	10:00～16:00	10:00～16:00	
情報環境	情報処理実習教室	情報メディア館 (JM201～206, JM301～306)	9:00～20:00	9:00～17:00	—	9:00～20:00	9:00～17:00	9:00～17:00		9:00～16:00
		情報メディア館 (JM404～406)	9:00～17:00	9:00～12:00	—	—	—	—	—	—
		顕真館(TS301・302)								
	オープン利用環境	情報メディア館 PCコーナー(1階)	9:00～20:00	9:00～17:00	—	9:00～20:00	9:00～17:00	9:00～17:00		9:00～16:00
		顕真館(TS101・102・201)	9:00～17:00	—	—	—	—	—	—	—
		恵道館(KD101・102)								
		図書館 第2読書室(1階)								
		図書館 PCコーナー(1階)	9:00～20:40	9:00～16:40	—	9:00～20:40	9:00～16:40	9:00～16:40		9:00～15:40
		図書館 PCコーナー(2階)			10:00～16:40					
		ローム記念館 PCエリア	9:00～20:00	9:00～17:00	—	9:00～20:00	9:00～17:00	9:00～17:00		9:00～16:00
マルチメディア利用環境	ローム記念館 マルチメディアラウンジ	9:00～19:00	9:00～17:00	—	9:00～19:00	9:00～17:00	9:00～17:00		9:00～16:00	
	情報メディア館 情報メディア課 窓口	9:00～11:30 12:30～17:00	9:00～12:00	—	9:00～11:30 12:30～17:00	9:00～12:00	9:00～11:30 12:30～17:00	9:00～12:00	9:00～11:30 12:30～16:00	

今出川校地		●講義・補講・試験期間			▲開講準備期間		■休講・休暇期間			
		月～金	土	日	月～金	土	月～金	土	8/1～9/15(月～金)	
図書館	開架閲覧室・参考図書室・雑誌室(1階)	9:00～22:00		10:00～17:00	9:00～22:00		9:00～22:00		9:00～22:00	
	第3・4・5閲覧室(2階)									
	第1・2閲覧室(地階)									
	マルチメディアライブラリー・EU資料センター(地階)	9:00～21:40		10:00～16:40	9:00～21:40		9:00～21:40		9:00～21:40	
	グループ学習室・点字・拡大読書室・対面朗読室(2階)									
	貸出・返却・予約									
	閉架書庫入庫	9:00～21:00		10:00～16:00	9:00～21:00		9:00～21:00		9:00～21:00	
	閉架資料出納			10:00～16:00						
	レファレンスカウンター	10:00～19:00	10:00～16:00	—	10:00～17:00	10:00～16:00	10:00～17:00	10:00～16:00	10:00～17:00	
情報環境	情報処理実習教室	寧静館(N21～23)	9:00～22:00		—	9:00～19:00	9:00～17:00	9:00～19:00	9:00～17:00	9:00～16:00
		寧静館(N地1～3)	9:00～19:00	9:00～12:00	—	—	—	—	—	—
		弘風館(K21)	9:00～17:00							
	オープン利用環境	寧静館(1階)	9:00～22:00		—	9:00～19:00	9:00～17:00	9:00～19:00	9:00～17:00	9:00～16:00
		寒梅館 PCコーナー(1階)	9:00～21:00		—	9:00～21:00		9:00～21:00		9:00～21:00
		尋真館(1階)	9:00～19:00	—	—	9:00～19:00	—	9:00～19:00	—	—
		図書館 PCコーナー(1階)	9:00～21:40		10:00～16:40	9:00～21:40		9:00～21:40		9:00～21:40
	マルチメディア利用環境	寧静館マルチメディアラウンジ(1階)	9:00～19:00	9:00～17:00	—	9:00～19:00	9:00～17:00	9:00～17:00		9:00～16:00
		寧静館メディア工房(2階)	9:00～17:00	9:00～12:00	—	9:00～17:00	9:00～12:00	9:00～17:00	9:00～12:00	9:00～16:00
		寧静館 情報システム室 窓口	9:00～11:30 12:30～17:00	9:00～12:00 13:00～17:00	—	9:00～11:30 12:30～17:00	9:00～12:00	9:00～11:30 12:30～17:00	9:00～12:00	9:00～11:30 12:30～16:00
		18:00～21:45	18:00～21:45	—						

●講義期間：4/8～7/14, 9/30～12/27, 2006/1/7～20

●補講期間：7/15～16, 2006/1/21～23

●試験期間：7/19～30, 2006/1/24～2/17

▲開講準備期間：新学期開始の準備(登録袋交付、科目登録など)の期間。3月下旬から4月授業開始まで。(詳細は掲示板・ホームページでお知らせします。)

■休講期間：11/5, 11/25～28

■休暇期間：8/1～8/14, 8/20～9/29, 2006/2/18～3月下旬

## ▼同志社大学 総合情報センター報 No.29 2005年4月25日発行

編集・発行：同志社大学総合情報センター 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

Tel:075-251-3960 Email:ji-gakjo@mail.doshisha.ac.jp

http://www.doshisha.ac.jp/gakujo/index.html